

2013年  
1月1日  
No.156

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24  
浦谷貞子 気付  
**さざなみネット**  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-545-5154



## 仲間を増やし、安心して働け生きがいの持てる職場を

新年 明けましておめでとうございます。

年末に行われた総選挙と自民・公明連立の安倍政権の復活・発足というあわただしい中で新年を迎えました。

安倍政権の発足によって、政治のゆがみはますますむき出しになり、激しくなろうとしています。「強い経済」を再生しようとして持ち出してきた異常な経済政策は、大企業と大銀行の利益は温存し、肥え太らせながら、経済と財政、国民の暮らしは破壊するものです。名うてのタカ派の安倍氏が日米軍事同盟強化と改憲を策動していることは、日本の平和を脅かすとともに国際的にも孤立を招くものです。

国民の雇用と賃金など所得を増やして、日本経済を根本から

立て直すこと、軍事でなく外交による問題解決がいよいよ求められています。

金融機関の職場では、露骨な利益至上主義の経営のなか、人員削減と長時間過密労働のうえ、成果主義賃金の広がり目先の業績が求められ、仲間の心が増大するストレスによって蝕まれています。

私たちは、金融機関に働く仲間の悩みや要求を取り上げ、みんなで考え解決してきました。

今年も、みなさんと共に、新しい政治と社会に向け真剣に模索しながら、仲間を増やし、労働者が安心して働け生きがいの持てる職場となるようがんばります。みなさまのご協力をよろしくお願い致します。



岩波 美智子さん 画



全国金融産業労働組合  
近畿支部滋賀分会（さざなみネット）  
分会長 浦谷 貞子

蛇は、古来より「畑の番人」として大切にされてきました。また、蛇は脱皮をして成長するところから不死身であるとされ、信仰の対象とされてきました。特に白蛇は、神の化身であるとされたり、神の使いであるとされてきました。

また蛇は、七福神の一人、弁財天の使いであるともされており財運を上げ、金運に恵まれるといわれます。蛇のぬげがらを持っていると、大金が入るといふ民間信仰からわかるように、「蛇」は財宝と深い関わりを持っています。



「巳」(み、し)という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味があります。

- ① 十二支の6番目。
- ② 方位。南南東よりやや北より。
- ③ 時刻。午前10時ごろ。
- ④ 月では陰暦4月。
- ⑤ 動物では蛇。



# 【談話】第2次安倍内閣の発足にあたって

12月26日の特別国会で、第96代の内閣総理大臣に自民党総裁の安倍晋三氏が選出され、同日中に第2次安倍内閣が発足した。

衆議院選挙で自民党が獲得した得票率は27.6%（比例区）で、同党が大敗した2009年の26.7%と変わらない。

このことでも明らかだが、「世界で一番企業が活動しやすい国」をめざした大胆な規制緩和や教育への介入強化、集団的自衛権行使のための「国家安全保障基本法」制定、自衛隊を国防軍に位置づけること、などの自民党の総選挙公約が国民的な支持を得た訳ではない。

自民党、公明党、民主党が「密室談合」で成立させた消費税増税と社会保障改悪の具体化や、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉への参加、「安全神話」にしがみついた原発再稼働、米軍普天間基地の沖縄県内移設などの課題で顕著な国民要求と政治動向とのかい離は埋まってはいない。

以上の状況をふまえ、安倍政権と、その与党である自民党、公明党には、国会内の議席数依存ではなく、得票率にも示された国民全体の意思を受けとめる国民生活重視の政権運営を行うよう強く求める。

安倍首相は、2006年9月からの1年間、「美しい国づくり内閣」と命名した内閣で、「戦後レジームからの脱却」をスローガンに、教育「改革」などの超保守的な施策と小泉構造改革の加速と言う新自由主義改革を同時に進めた。そのような前歴を持つ安倍氏が、改憲など「やり残した課題」に再び手をつけることを「公約」して政権の座に振り返りさいたことには危機感を抱かざるを得ない。

安倍政権は当面、自公民の「増税大連立」に軸足を置き、2014年4月からの消費税増税を確実にするための大型公共事業のばら撒きを日銀に建設国債を引き受けさせて行う財政規律無視の暴走政治を進めると考えられる。

また、安倍内閣の閣僚の布陣でも明らかなように、「原発維持、推進」の立場にたった施策を強めることも容易に想定される。

加えて、7月の参議院選挙後もにらみつつ、集団的自衛権行使のための国家安全保障基本法の制定などの「改憲連立」を追求することも確実である。

以上の状況認識から全労連は、要求の一致点での共同の前進に奮闘し、安倍内閣の労働者、国民いじめの悪政をくい止めるためたたかいを強める。

2000年代に入って繰り返されてきた改憲策動の歴史の中でも、最も緊迫する状況となっていることを強く意識した憲法擁護のたたかいを再強化する。

国民の世論と運動が政治決定の要の位置にあることを強く認識し、くらし、いのち、権利、平和などの課題での国会闘争を強め、国民的運動の前進に奮闘する決意である。

2012年12月27日

全国労働組合総連合  
事務局長 小田川義和



岩波 美智子さん 画